

4月25日 財政福祉委員会（山口清明副委員長・さいとう愛子委員）

自・民・公・減が請願2件(2項目)を不採択に 暮らしの実態を直視せよ

4月25日の財政福祉委員会では、請願2件と陳情2件を審議。日本共産党は、請願2件と陳情1件の採択を求めました。結果は、「保留」や「不採択」、「聞きおく」になりました。

国保滞納の相談を丁寧に

「国民健康保険制度及び高齢者医療制度の改善を求める請願」審議で、さいとう愛子議員は、保険料の滞納世帯に発行する資格証明書（医療費支払いが全額求められる）の発行について、愛知県内の自治体では28市町村、51.9%が資格証を発行していない調査結果を示し、名古屋市の納付相談について質問。当局は、1年以上滞納があると機械的に資格証を発行するわけではなく、その前段階で病気など特別な事情が無いか確認している、と答弁しましたが、相談件数が増えているかどうかは不明、と答弁。

さいとう議員は、国保の資格証や短期証の発行は減っ

ているが、差押は引き続き増えている点を指摘し、滞納される事情を丁寧に面談で対応を、と求めました。

特養への入所認定を柔軟に

「介護保険制度の改善を求める請願」審議で、さいとう議員は、要介護1と2の方がどれほど特養への入所を希望して待機しているかを確認して、自治体独自の裁量で柔軟に入所を認めるべき、と求めました。

山口清明議員は、介護職員の離職予防のための待遇改善について、名古屋市の取り組みを質問。当局は、離職予防のため「やりがい」が感じられるよう研修を重視してきたが、今年度から資格取得へ助成事業を重点化していく、と答弁。

山口議員は、資格を取得しても賃金にすぐ連動しない点、事業所内や事業所外での研修への助成を止める問題点を指摘し、実際にどうなるのか検証を求めるとともに、請願の採択を求めました。

財政福祉委員会での請願審査の結果（2016年4月25日）

	請願名（請願者）	請願項目	各会派の態度					結果
			共	自	民	公	減	
新規請願	国民健康保険制度及び高齢者医療制度の改善を求める請願（名古屋の国保と高齢者医療をよくする市民の会20,056名）	1 国民健康保険料の大幅引き下げを	動向を見守る					保留
		2 減免制度の該当世帯を自動的に減免へ						
		3 0歳～18歳は均等割の対象としない	○ ● ● ● ●					不採択
		4 資格証明書・短期保険証の発行や、生活実態を無視した差し押さえをしない						
		5 後期高齢者医療制度の保険料9割軽減などの継続を国に求める						
	介護保険制度の改善を求める請願（千種区住民934名）	1 介護保険料・利用料の独自減免・減額を	動向を見守る					保留
2 特養ホームなどの増設で待機者を解消する								
3 介護度での特養ホーム入所制限を撤回する		○	●	●	●	●	不採択	
4 介護サービス利用希望者には、要介護認定の実施を。要支援者の訪問介護・通所介護は、現行サービス水準を維持する		動向を見守る					保留	
5 介護職員の待遇改善を								
6 国庫負担の引き上げを国に要請する								
新規陳情	軽度外傷性脳損傷・脳しんとうの周知、予防、その危険性や予後の相談のできる窓口などの設置等を求める意見書提出に関する陳情（軽度外傷性脳損傷仲間の会）	SCAT3、チャイルドSCAT3の実施を自治体の相談窓口で専門家を	動向を見守る					聞きおく
	障害者総合支援法の抜本的な見直しを国に要望し、障害者福祉施策を充実させ、福祉労働者の労働条件を改善することを求め陳情（ゆたか福祉労働組合1,007名）	制度の抜本改革を、正規職員の配置を大幅にふやし、社会福祉施設職員等退職手当共済制度の公費助成を廃止しない	動向を見守る					聞きおく